



ネグレスト（介護放棄）なの？

ネグレストとは、高齢者が物理的、精神的、そして社会的に必要としているニーズがあるにもかかわらず、「介護しなければならない家族がその介護を放棄している」と言われる。しかし、家族は介護を放棄しているのではなく、どう対応していいのかわからずに戸惑っている間に、脱水症状や栄養失調になり、衰弱し、急に動けなくなったことにより、床ずれができてしまう。家族は何をどう対応したらよいかわからぬままに体調が悪化してしまうのだ。

事例①

Tさん 75歳は、要介護3で自宅の廊下で転倒し動けなくなり、寝たきり状態となった。床ずれができ、家族が地域包括支援センターに相談し、訪問看護にて対応しようとするも、本人が「あまり他人に家の中に入ってほしくない」と拒否。体調はどんどん悪化し緊急入院となり、約5ヶ月間の入院で体調も落ち着き退院となった。床ずれは治癒したものの、尿閉を起こし尿管が入ってほぼ寝たきり状態である。入院中には相談員に施設入所も勧められたが、経済的に在宅療養生活をするしかなく、看護小規模多機能型居宅介護ケアホーム希望のサービス利用が開始となった。高齢な夫と就労中の息子では寝たきりのTさんを介護するのは容易なことではない。夫も首や腰の痛みに持病もあり思うように動けず、洗濯や簡単な家事をすることがやっとである。息子も就労中のため3食の食事準備で手いっぱいである。

自宅は狭く、車椅子が入るスペースもない。毎日看護師が訪問して清潔ケア排泄管理、リハビリ等も行っている。実際に関わってみると介護放棄ではなく、「どうしたらいいかわからなかった。」と、夫と息子は言う。



事例②

Mさん、86歳は息子との3人暮らし。被害妄想があったりする。トイレに行かずにズボンを脱いでその場で尿失禁してしまったりする。介護サービスへの拒否が強く、精神的に不安定である。更に家族は就労中のため介護ができず、みるみる間に体力が低下し、緊急入院となってしまった。その後精神科にて内服調整をして精神的な安定が図れ、在宅療養生活となり、看護小規模多機能型居宅介護ケアホーム希望へ登録となった。

息子は通いのサービス（デイサービス）を利用させたいが、本人に強い拒否があり、訪問看護と介護にて体調管理や生活支援等をしている。息子が休みの時は介護をしているが、自分達も休息が欲しい、気分転換をしたいと、出かけてしまうことがある。仕事と介護の両立はきつく、介護をする側の家族もリフレッシュは必要であり、大事である。



ネグレスト（介護放棄）と表現することは簡単であるが、本当に家族が介護をするということは奥深く、容易なことではない。

今日は楽しい

ひな祭り

あかりをつけましょ
ぼんぼりに～

おやつの
桜餅も美味し
かったわ～

いつも
美味しく
頂いてます

花より団子とは
私たちのことかしら…??
フッフ…

ひな祭り膳

ケアホーム希望の

第10回

介護教室

『介護拒否の原因とその対処法』

介護を嫌がって拒否された…。薬を飲んでくれない…。
おむつ交換させてくれない…。など、高齢になると身体が不自由
になり介護を受ける必要があっても、介護を拒まれるケースがあり
ます。それでも大切な人には少しでも快適な暮らしをしてもらいたいです。

◆介護拒否をしやすい人の特徴は…

●介護されることに抵抗感がある

自分の事は自分で出来る。介護されるなんて情けない。迷惑をかけたくない。など理由は様々です。
拒否をする背景を考えてみましょう。

●認知症により自分の状況が分からず抵抗している

認知機能の低下により**介護の意味を理解できない**ことがあります。認知の衰えから自身の状況をきちんと
と把握できず、自分には介護は必要ないと思っている人もいます。

◆介護拒否になった場合の対処法…

●介護の必要性を伝える

自分はまだ大丈夫と思っている人は特に介護されることを嫌がります。**なぜ介護が必要なのか**を根気強
く伝え、介護が必要だと自覚するまで見守るにとどめることも有効な手立てになります。

●無理強いをせず本人の意思を尊重する

拒否していることを**強制するのは厳禁**です。まずは本人の気持ちに寄り添い、受け入れ、本人の意思を
尊重します。「この人は私を大切にしてくれる」と思ってもらうことで受け入れやすくなります。

●体調が悪くないか確認する

体調が悪くてもそれをうまく口にできない場合があります。「〇〇が痛いの?」「調子が悪い?」など
「YES」or「NO」で答えられる質問にすると答えやすく、素直に自分の状況を教えてくれたりします。
また、興奮している場合は一旦その気持ちを受け入れ介護をやめてみましょう。時間が経つことで抵抗
がなくなり、受け入れてくれることもあります。**気持ちが落ち着くのを待つ**イメージです。

●介護を拒否されても叱ってはいけない

拒否されるとショックでイライラしてしまうこともあるかもしれません。しかし、「どうして?」「早
くして!」などと言ってしまうと恐怖で余計に介護を嫌がり、拒否することもあります。「〇〇しませ
んか?」など、優しく安心する声掛けと**その人のペースに合わせ** ゆっくり対応してみてください。

●介護拒否されても一人で抱え込まないで!

対処法通りにしても介護拒否はあります。自分が否定されたような気持ちにもなります。しかしその人
は嫌いで拒否しているとは限りません。**迷惑を掛けたくない**という思いから抵抗していることもあります。
介護は一人で抱え込まず、遠慮なく誰かに頼ってください。いい解決方法が見つかると思います。